

※転載許可済み

障害者農園で働いて

障害者の就労を目的に、企業向け貸農園を運営する「エスプールプラス」(東京都千代田区)は6月1日、川越市下赤坂に「わーくはびねず農園さいたま川越」をオープンする。障害者の雇用義務がある企業に就労の場を提供するのが目的で、障害者の月額給料は10万〜11万円が見込まれる。



企業貸し出しへ

同社は千葉、埼玉、愛知の3県に貸農園を展開する。県内では昨年6月にさいたま市岩槻区に開園した農園に次いで2か所目となる。岩槻区では105人の障害者が働いており、就労希望が多かったため、川越市で開園することになった。

パイプハウスを建設して利用企業に貸し出し、企業は雇

▲他の「わーくはびねず農園」で働く障害者たち(エスプールプラス提供)

川越に来月オープン 県内2か所目

用した障害者とサポータースタッフと共に野菜や果物を栽培する。現在、金融業やコンサルティング業など都内の12社の参入が決定しており、最大13社まで利用できる。

雇用は主に知的・精神障害者約75人が見込まれ、エスプールプラスが川越市周辺で求人を行い、適性を判断した上で、利用企業に紹介する。

農園での作業は、障害者が転んでもけがをしないよう発泡スチロール製のトレーを使用し、軽石を敷いて養液栽培を行う。ハウス周辺にはトレイラーハウスもあり、休憩室や研修室として利用できる。栽培した野菜は、自社レストランで使用したり、福利厚生として社員に配ったりする企業が多いという。

わーくはびねず農園は6月1日で計21か所に上り、5月20日現在の利用企業は250社以上、農園で働く障害者は1500人以上で、障害者定着率は92%という。問い合わせは同社(03・68259・6505)。